

衆議院議員 柿沢未途



Vol. 39



自由民主党 東京都第15選挙区 支部長に就任しました

このほど、自由民主党衆議院東京都第15選挙区支部長に選任され、就任いたしました。前回の衆院選以来、すでに2年近くの歳月が経過しておりますが、この間、多くの皆さまに私の置かれた立場についてご心配を頂き、また同時に問題解決に向けたご尽力も頂いてまいりました。ここに厚く御礼を申し上げます。

私がこのようにわれながら奇蹟のような歩みを進めてこられたのも、地元・江東区で長年ご支援くださり、苦楽をともしてきた皆さまがいらっしゃればこそです。苦しい時も崖っ

ぶちの時も選挙で結果を出せてきたからこそ、今の私があります。皆さまのご期待に応えられるよう、政権与党の一員として政治活動に精励してまいります。

まさしく選挙区支部長の選考期間の真っ最中の7月4日には、G7広島サミットを終えたばかりの林芳正・外務大臣に江東区までお見えを頂き、柿沢未途後援会総会で基調講演を頂きました。国益を背負って重責を担う諸先輩を目標として、一步一步、夢に向かって歩んでまいりたいと思います。引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



柿沢未途後援会総会（7月4日）
林芳正・外務大臣が基調講演



柿沢未途（かきざわみと）



- 昭和46年（1971年）生れ。
数矢小、麻布中・高、東大法学部卒。
- NHK記者として長野放送局に勤務、
長野冬季オリンピック・パラリンピックを現地で取材。
- 都議2期、衆議院議員5+期。
所属政党の幹事長や政調会長を歴任。
- 国会質問回数ナンバーワン、NPOによる国会議員評価で
三ツ星★★★議員に選ばれる。
- 2020年7月に出版の著書「柿沢未途の日本再生」が、
尾崎行雄記念財団ブックオブザイヤー大賞を受賞。
- 防災士の国会議員として震災被災地・台風被災地への
支援活動に足を運ぶ。
- 衆議院国土交通委員会委員、厚生労働委員会委員、
外務委員会委員、災害対策特別委員会委員、
消費者問題に関する特別委員会委員。
- 自由民主党国会対策副委員長。



日本・EU友好議員連盟事務局長として 日本・EU議員会議で 欧州議会を訪問

国会の公式派遣で「第41回日本・EU議員会議」に参加しました。このほど日本・EU友好議員連盟会長の船田元先生より、議連事務局長のご指名を頂き、就任させて頂きましたので、今回の会議参加が事務局長としての初仕事になりました。船田先生を団長とする与野党9名の超党派訪問団です。EU（欧州連合）の本部があるのはベルギーの首都ブリュッセルですが、EUの議会である欧州議会はフランス・ストラスブールにあります。ストラスブールのあるアルザス・ロレーヌ地方は戦争から戦争を経てフランスからドイツに割譲された歴史があり、仏独をはじめ欧州全体の統合と平和の象徴のような都市であるからです。ここに欧州各国から選出された欧州議会議員705人が集まり、EUの域内共通の法令や予算について審議します。

第二次世界大戦後、ダイナミックな統合を進めてきた欧州は、冷戦終結後には東欧諸国にも加盟国を拡大し、今や27か国が加盟しています。いわゆるブレクジットによる英国の脱退というサプライズもありましたが、ロシアの侵

略戦争に直面するウクライナもEUへの加盟申請を行っており、安全保障上の枠組みであるNATO（北大西洋条約機構）とともに、欧州の平和と安定の基盤となっています。

欧州議会側の「大きな変化」

とりわけウクライナに対するロシアの侵略戦争が起き、また、経済的に重要な貿易相手国として欧州諸国が融和的な外交をしてきた中国が習近平主席のもとで内外ともに強圧的・独善的かつ権威主義的な姿勢を強める中で、ロシアと中国が相互に連携して、いわゆるグローバルサウスの国々を巻き込みながら、第二次世界大戦後に構築されてきた既存の国際秩序に挑戦する動きを見せています。

EU加盟国の欧州諸国も考え方を大きく転換し、ロシアと戦うウクライナに対する強力な支援を行なうとともに、対中国でも過度な依存のリスクを認識し、経済安全保障を含めた安全保障上の警戒感を強めています。新型コロ



ナウイルス感染症のパンデミックによる中断を経て4年ぶりの開催となった今回の日本・EU議員会議では、欧州諸国のこうした考え方の変化がまざまざと感じられました。

ウクライナ侵略戦争に関する冒頭発言

私自身の会議1日目、「ロシアのウクライナに対する戦争」のテーマで日本側からの冒頭発言を担いました。当初、ロシアのプーチン大統領は「3日もあれば首都キーウを陥落できる。ゼレンスキー大統領は国外に逃亡するだろう」と甘く見ていた節があります。



ポーランド・ワルシャワの「ウクライナ・ハウス」訪問
避難民の女性達から実情を聞きました



日本・EU議員会議（7月12日・13日 フランス・ストラスブール）



ポーランド対日友好議連会長の
ノヴァツカ下院議員と

ところがウクライナの祖国を守る強い意志に直面し、衛星コンステレーションやドローンを使用したハイテク戦争に見事に適応したウクライナの戦い方に苦戦を強いられ、当初の占領地から大幅に後退を余儀なくされています。しかし、例えば隣国のポーランドはウクライナ避難民を100万人以上も国内に抱え、国家予算の1割近くをウクライナ支援に割いています。これ以上、戦争が長期化すれば、欧米諸国のいわゆる「支援疲れ」が出てくるのではないかと懸念されます。一方でロシアが劣勢になればなるほど核や原発も含めた破滅的なエスカレーションのリスクが高まりかねません。

ロシアの侵略戦争がどのように帰結するのかを、同じように隣国を狙う権威主義的・覇権主義的な国々が注視しています。だからこそ欧州諸国と日本が同じ価値観に基づく国々として地球規模で連携・強調し、世界の平和と安定に責任を果たしていかなければなりません。会議の中でも欧州議会側から日本に対して「同志(Like-Minded)」という表現が繰り返し聞かれました。

ポーランドを訪問

会議の後は、先に帰国された船田団長にかわり私が団長代行となってポーランドを訪問、日本との友好議連会長であるノヴァツカ下院議員らと面会しました。そして首都ワルシャワにある、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)が支援するウクライナ避難民のための「ウクライナ・ハウス」を訪ね、戦場となった祖国から避難してきた女性の皆さんと意見交換をさせていただきました。ウクライナからは青壮年男子は国内にとどまりロシアと戦うため出国が禁止されていますので、国外に避難している90%以上が女性と子どもと高齢者です。夫や父親と離れ、中にはすでに戦地で夫が亡くなられたという女性もい

ました。避難先で暮らす実情を聞き、そして、日本が行なっている支援への感謝の声を聞きました。個人的に足を延ばし、アウシュビッツ・ビルケナウ収容所にも行ってきました。歪んだ思想を持った政治家が、特定の人種や民族の絶滅を決意し、国家の意思として組織的にそれを遂行した歴史的犯罪が行なわれた場所です。為政者たらんとする政治家は、必ず一度はこの場所に立ち、自らを省みて、戒めなければならないと思いました。



アウシュビッツ・ビルケナウ収容所を訪問

「柿沢未途 国政報告会2023」

参加無料

どなたでも
ご参加いただけます



国会議事堂の政権中枢から
「産地直送」の国政情報と、
柿沢未途の政策を
お話しさせて頂きます。

地元の皆様さまとの

「顔と顔の見える関係」を

モットーとする政治家として、

対話型の双方向の国政報告会に

したいと思っております。

どうぞ奮ってご参加ください！

下町の太陽

柿沢未途 国政報告会 [日程]

- 10月 6日(金) 古石場文化センター 大研修室 18:30
- 10月 13日(金) 総合区民センター 第5研修室 19:00
- 10月 25日(水) 亀戸香取神社 参集殿 19:00
- 11月 7日(火) 森下文化センター AV ホール 18:30
- 11月 9日(木) 江東区文化センター 展示室 19:00

お問合せ ▶ 柿沢未途事務所 TEL.03-5620-3104

YouTube かきみとチャンネル

絶賛配信中!

ユーチューバー・柿沢未途の情報発信。防災士の国会議員による防災シリーズ、江東区の魅力を紹介する「みと散歩」シリーズ、【アートパラ深川おしゃべりな芸術祭】の紹介、趣味の競馬に関するダービー特集の対談と、バラエティ豊かです。チャンネル登録者数も急増中。ぜひご視聴ください!



ご視聴はこちらのQRコードを読み込むか「かきみとチャンネル」で検索してください。ぜひ、チャンネル登録をお願いします。



チャンネル登録をお願いします!